



八事キャンパスに完成した八事新2号館

進むキャンパス再開発計画②

薬学部でも進む再開発 八事新2号館が完成

薬学部がある八事キャンパスでも再開発計画が着々と進展しています。2012年11月15日には八事新2号館の竣工式が行われました。2006年12月に完成した八事新1号館に次ぐ新棟の誕生です。国道153号線沿いに面した4号館を取り壊して新築された新棟は地下2階地上6階で、延べ床面積7533㎡。地下2階から1階までは学部および全学共用の実験施設で、地下2階にはR1（ラジオアイ

ソトープ）実験施設、地下1階には日本でもトップクラスの設備をそろえた動物実験施設、1階にも最先端の化学物質測定機器をそろえた分析センターが置かれています。地上2階から6階には教員研究室24室、学生研究室14室のほか実験室14室が設けられ、階段室等には人感センサーを設置、また、照明には省エネタイプのLEDダウンライトを採用。廊下から研究室内部を見渡すことが

できる構造も取り入れるなど明るく開放的な空間となりました。また、各階のエレベーターホールには、実験施設名や研究室名の表記とともに壁面には実験機具や測定機器をイラスト化した「遊び心」も取り入れたデザインが施されています。八事新2号館の完成で、薬学部では、高度な薬学教育を支える研究機能の高度化、最新の教育・研究施設を完備した拠点施設が一段と充実しました。



実験機具のイラストが描かれた壁面